

第6回 ふじミュー自然系文化祭「自然史しずおか祭 2022」

横山謙二



自然史しずおか祭 2022.



3日のコアタイムの様子.

ふじミュー自然系文化祭「自然史しずおか祭 2022」を、10月22日から11月3日にかけて開催しました。「自然史しずおか祭」は、ふじのくに地球環境史ミュージアムの秋イベントとして、NPO 自然史博物館ネットワークが企画したもので、2017年より始め、今年で6回目になります。開催目的は、ふじミュー研究員やサポーター、NPO などのふじミュー関係者が行っている研究や活動を発表する場所をつくるために行ってきました。今年の発表は、地質・古生物分野で8、昆虫分野で7、植物分野で5、鳥類・哺乳類分野で3、その他標本の展示2で25テーマの発表がありました。発表者は、ふじミューの研究員等の専門家をはじめ、小学生から高校生までの幅広い世代がそろいました。

このイベントのメインは、11月3日に行っているコアタイムです。この日は、発表者に来てもらい見学者に対して、口頭で発表・質問対応をしてもらいます。また発表者とおしもお互いに情報交換・コミュニケーションとれる日となっています。参加した中高生は、専門の研究者の方から研究手法の指導やアドバイスなどを聞くことができ勉強になったのではないかと思います。



優秀賞の授賞式.

また中高生の発表も、大人が思いつかないような視点や発想を取り入れた研究方法に驚かされました。

県内には、まだまだ自然科学に関して、研究活動を行っている人が多くいます。自然史しずおか祭の当初の目的は、ふじミュー関係者の研究や活動を発表するための場所づくりでしたが、より多くの自然科学系の研究者・団体にも、自然史しずおか祭に参加できるようにしていきたいと思います。